



# Nepal Blind Support Association

## ネパールの視覚障害者を支える会会報

第12号 2005年6月ネパールの視覚障害者を支える会 (NBSA)

NBSA HP : <http://at.sakura.ne.jp/~ilte/nbsa/>

主内容：総会報告/現地活動報告/事務局だよりとお知らせ

### チャリティーコンサートと講演の夕べ



ネパールの視覚障害者のために響け愛の歌

涙そうそう…。きょうは泣かずに歌えました、とソプラノ歌手の堀之内孝子さん。少しせつなくそしてやさしい歌声に伴奏のピアノ（村田亜希子さん）が静かに流れます。黒のシンプルなドレスが彼女の若さを一層引き立て、絶妙なコンビが聴衆を魅了しました。最後はさあ！みなさんと一緒に…。童謡など懐かしのメロディーを全員で合唱。（鹿児島市勤労者交流センターにて）



コーラスグループ「歌声さくら」指揮 中島みどりさん、ピアノ 田中香織さん。最年少が56歳とのことですが、出演者は驚くほど若い。元気がでる歌声に拍手喝采。他に鹿児島北ロータリークラブなど多数の方にご協力いただき、鹿児島市民の国際ボランティアに心から御礼申し上げます。

# 2005 年度総会報告

ネパールの視覚障害者を支える会（NBSA）2005 年度総会は、平成 17 年 4 月 15 日、鹿児島市勤労者交流センター多目的ホールにおいて開催された。会議儀の定足状況は、正会員 77 名、定足数 39 名に対し、出席者 7 名、委任状提出者 41 名の計 48 名で、定足数に達し、総会は成立した。

承認、了承等された議案は、次のとおりである。

## 議題 1. 2004 年度事業報告と決算報告

### ・2004 年度事務局活動報告

（概略）

鹿児島市社会福祉協議会にボランティア団体として登録をし、大会主催の「第 13 回福祉ふれあいフェスティバル」（11 月）「ボランティアフェスタ」（2 月）に参加、鹿児島市鴨池新町第 3 サンハイツの自主学習グループで「ネパールの障害者の現状と NBSA の活動」の紹介等の広報活動を行った。

JICA 平成 16 年度 NGO 技術者派遣制度に技術者派遣を 7 月に申請し、8 月に受理された。

JICA 開発途上国活動ボランティアの必要物品輸送計画プログラム「世界の笑顔のために」の国内支援団体として NBSA を申請した。（7 月）

スタディツアー実施。（10 月 26 日～11 月 5 日）

鹿児島北ロータリークラブと白杖 2,000 本寄贈計画についての協議を開始。

### ・現地（ネパール）活動報告

（概略）

定期活動：10 日に 1 度のスタッフミーティング

カセットテープ・マガジン月一度発行

サービス・デリバリー（本とテープの貸し出し。ボランティア派遣等）

会報誌年 3 回発行と月 1 度ネットニュース送信

その他の主な事業：

\* 第 2 回ネパール・子供の日を祝うクイズ大会

8 月初旬から全国キャラバン開始。4 都市 6 校で予選を行い、ネパール国営放送局で決戦。8 月 20 日の祝日に全国放映。（1 位ブトワール、2 位キルティプル、3 位ポカラ）

\* 職業訓練会：ストロー暖簾作りと、ビジネス・プランニング講習。受講者 13 名。

\* アナウンサー養成講座。カセットテープ・ライブラリー事業の一環。20 名参加。

\* 秋のピクニック。目的地のナガルコットは標高 2000 メートル以上。54 名参加

\* NBSA 秋の交友トレッキング実施。ポカラの視覚障害者 2 名が参加。

\* 国際白杖の日。NBSA と盲人協会の共同開催。

\* 国際障害者デーと国際ボランティア・デーを祝した「平和コンサート」を開催。

\* 視覚障害児の親を対象にした啓発セミナーとペアレント・ネットワーク作り。60 名。

\* 国際点字の日（1/4）に同日 JICA の援助プロジェクト「世界の笑顔のために」で寄贈されたカセットテープ・ダビング機や拡大読書器、ルーペなどの寄贈式が行われた。

\* NBSA 社会福祉法人に登録

2004 年度 決算報告書

2004 年 4 月 1 日～2005 年 3 月 31 日

【監査結果】 2005 年 4 月 5 日、決算書は適正であることが認められた。

議題 2. 2005 年度事業計画と予算案

・ 事務局事業(活動)計画

社会福祉事業への参加と広報活動の充実

鹿児島市社会福祉協議会主催の各種事業への参加と同協議会等からの要請がある場合の講演など

・ 現地(ネパール)事業計画 (順不同：予算案の順序)

(1) 視覚障害者のための生活自立訓練と青年リーダーシップ・トレーニング(生活自立)

二羽泰子氏を迎えて2ヶ月間のトレーニング。

(2) カセットテープライブラリー事業 (カセットテープ L) : 月間のテープマガジンのほかに、小説などの音声化。 目標 : 年間 60 冊

(3) 白杖 2000 本の配布 (白杖配布) : 鹿児島北、台北和平、カトマンドゥのロータリークラブの合同支援で白杖 2000 本を寄贈。カトマンドゥで寄贈式典を行い、10 月の国際白杖の日等で、広範囲に配布。

(4) その他の事業と行事への参加予定 (他事業費) : (順不同、状況により設定)

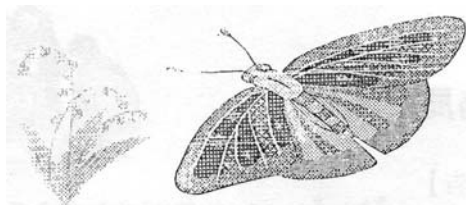
- \* 子供の日クイズ大会 : 本年度はカトマンドゥ盆地内だけを予定。
- \* 親への啓発セミナー : ブトワールで、生活自立訓練と併合して行う予定。
- \* 国際障害者デー 12 月 3 日 : 街頭デモ行進に参加予定。

#### 現地定例活動

- \* 会報誌「ネパールの視覚障害者を支える会」年 3 回発送
- \* NBSA ネット・ニュース 年 12 回発信
- \* 会員へ暑中見舞い発送
- \* カセット・テープマガジンの発行と貸し出し 年 12 巻
- \* ウォークマンの貸し出し
- \* 視覚障害者の相談などに常時対応

・ 2005 年度予算案 承認された予算書は下記のとおり ;

NBSA 2005 年度 予算書



## 二羽 泰子さんのボランティア報告

2005年5月16日二羽泰子（フタバヤスコ）さん2度目のネパール入り。昨年9月に下見に来るほどの熱心さ。これまで世界各国から登山家等、様々な視覚障害者がネパールを訪れ観光やNGO団体の視察等行っていますが、彼女の場合はボランティア活動。JICAの支援で現場に入り合計50日間の活動を行っています。ネパールでの視覚障害者自身によるボランティアではおそらく最長でしょう。NBSAの生活自立訓練会の一環で青少年のリーダーシップ・トレーニングを担当してもらいました。

カトマンドゥではリハビリテーションセンターが舞台。ポカラの学校と大学ではフトワールからも参加者が集りました。始めはNBSAが2年越しで計画していた生活自立訓練をネパール人講師に担当してもらい、目の不自由な青少年がスムーズに社会生活が送れるよう、日常に欠かせない基本的な作業を習いました。朝起きてから寝るまでの作業を通して行う。目の不自由な人がひとりで行うことは並大抵のことではありません。洗顔からヒゲ剃り、女子は髪を結いお化粧します。唇にキュッと紅をさすのは、女性なら誰でも憧れる身だしなみ。むろん歯磨き、ブラッシング、靴磨きなども欠かせない登校、出勤前の習慣。ネパール独特のお茶の入れ方、おやつ作り方、そして夕食の支度も行いました。男子は調理の経験が案外なく、普段は口達者なNBSAメンバーもポテトの皮をむき、ひと口大に切るときには手元が危ない様子。生活訓練後半は部屋の清掃、家具の置き方、洗濯やアイロンかけ、衣類のしまい方などをみっちり仕込まれました。訓練終了日には遠足に出かけ、楽しみながら学ぶNBSAならではの娯楽性も盛り込み一同おうはしゃぎ。

次は泰子さんの出番です。ヤング・リーダーシップ・トレーニングってなあに？そしてリーダーってどんな人？みんなで考えてみました。なぜかほとんどの人がリーダーとは政治家や団体の役員だと思っていたのです。リーダーになるにはまず自分とは何か、自分が社会の中でどんな存在か、どのように位置付けられているかを知らなければなりません。障害とはどんなものですか？あなたひとりが特別な存在ではないのです。泰子さんがやさしく話しかけます。他にどんな障害がありますか？今度は質問です。エート、視覚障害者のことは知っているのだけど、知能の発達が遅い人はなんと叫んだかな？みんなが話しに引き込まれていきました。社会的弱者、障害者と呼ばれている人々を保護する法律があり、教育の義務があり、それらを要求する権利もあるのです。ネパールにもあるでしょう。日本にも様々な法律がありますよ。珍しい外国の話しに耳を傾ける人々は、中学生から短大レベルの学生や社会人。リーダーは強く勇敢なだけでなく、広い知識をもち、誰にでも公平な立場を取れる人のことだよ。誰もがのびのびと自分の考えを話せるようになりました。

二羽泰子さんの感想です。

私は日本で、外国の研修生にこのような講義をしましたが、外国で行うのは初めて。言語、文化や風習の違う国の人々に、どのような話をすればよいのか始めは戸惑いました。でも素直で無邪気な人々に囲まれているうちに、こちらもリラックスし、参加者の習熟状態が、日々手にとるようにわかるようになりました。またカトマンドゥとポカラの雰囲気の違いが興味深かったです。カトマンドゥでの受講生は年も若く、未就学の人もありました。言葉を選んで話しをしていたつもりですが、反応がいまいち悪い。話しがつまらないのでは。理解していないのかしら？少し悩んだのですが、ポカラへ行くと自信が回復。質問すると、どんどん答えが返ってくるし、個性的な考えをもっているユニークな人も多い。相対的な印象ですが、首都に住んでいる受講生より、大自然に囲まれた都市に住んでいる人の方が、活発で明るく、のびのびしていた事。ネパールは国土の多くが山岳地帯であると聞いていましたが、住む地域によってこんなにも違いがあるものだと、短い滞在であるにも関わらずネパールの多様性を垣間見た気がし、大変参考になりました。また私自身、ネパールで学ぶ事が多く、よい経験ができたと思っています。

（詳しくはネットニュースの5月号と6月号をご覧ください）

## 事務局だより

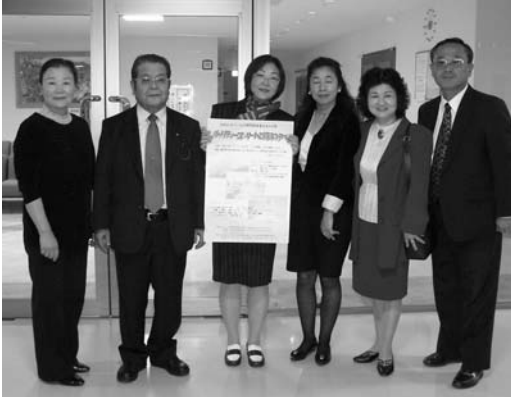


हाम्रो कित्ताब

नेपाल राष्ट्रिय पुस्तकालय

### 【報告】

NBSA ネパールの視覚障害者を支える会「チャリティーコンサートと講演の夕べ」  
本会主催の上記行事は、総会前後に準備を行い、予定通りに17時30分に開場。18時に開幕、予想以上の聴衆参加のもと、大盛況の内、予定通りに20時閉幕、会場整理、後片付け。大変好評でした。



NBSA 本部 役員一同  
左はコーラスグループ・キャプテン森山さん。



わ〜ん、こわいよ…。炒める、揚げるは誰もが苦手。調理実習のいち場面。

### ウォークマン人気者！

皆様のご協力を得まして、ウォークマン数台があつまりました。これは学生に貸し出し、授業の補助教材にしています。今後ともご不要となりましたウォークマンをご寄贈の程、お願いいたします。

### 2005 年度会費納入のお願い

4月1日よりNBSA 会計年度2005年が始まりましたので、会員の方々に会費の振込用紙を同封させていただきました。納入後にこの会報を受け取った方はご容赦ください。運営費のほとんどが、皆様方個々の会費によるものです。途上国の中でも最も景気が低迷しているネパールへ、ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- NBSA ネット・ニュース：毎月1回NBSAの活動状況やネパールのホットなニュース、果ては巷の噂話をお届けしています。音声パソコンにも対応できる編集をしています。ご希望の方はご連絡ください。 [yoriko@mos.com.np](mailto:yoriko@mos.com.np)
- ホームページのご案内：NBSAのホームページは会報誌、イベントやネット・ニュースを常に更新しています。ネパールに関心がある方なら必見。<http://at.sakura.ne.jp/~ilte/nbsa/>

Nepal Blind Support Association (NBSA) Yoriko Atsumi P.O.Box: 8974 PCN-111 Kathmandu, Nepal Tel:977-1-4356-357 E-mail: <a href="mailto:yorikonepal@hotmail.com">yorikonepal@hotmail.com</a>
---

《日本の事務局》 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町 27-1-1108 上田佳代子 Tel & Fax : 099-258-6685 E-mail : <a href="mailto:ilte@at.sakura.ne.jp">ilte@at.sakura.ne.jp</a> NBSA HP : <a href="http://at.sakura.ne.jp/~ilte/nbsa/">http://at.sakura.ne.jp/~ilte/nbsa/</a>
---

維持会費：個人会員年間 6,000 円 / 法人会員年間 15,000 円
---------------------------------------

振込先：郵便振替 01790-7-74222 (ネパールの視覚障害者を支える会)
--

(本誌の写真はすべてモデルの掲載許可を受けています)